

令和7年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
県 民 生 活 部

新規事業及び重要事業総括表

I 総額

【一般会計】

区 分	令和7年度	令和6年度	伸び率
予算総額	11,943,100千円	8,786,642千円	35.9%
一般会計構成比	0.5%	0.4%	—

新規事業及び重要事業総括表

(単位 千円)

Ⅱ 主な新規事業及び重要施策

1 災害・危機に強い埼玉の構築

P 5 新規 外国人向け災害対策 【国際課】 28,000

2 県民の暮らしの安心確保

P 6 一部新規 防犯のまちづくりの更なる推進 【防犯・交通安全課】 37,800

P 7 一部新規 消費者被害対策の推進 【消費生活課】 149,953

P 8 バーチャルユースセンターの設置・運営 【青少年課】 27,053

3 人生100年を見据えたシニア活躍の推進

P 9 一部新規 埼玉未来大学による地域社会活動の担い手育成 【共助社会づくり課】 121,693

4 誰もが活躍し共に生きる社会の実現

P 10 一部新規 性の多様性を尊重した社会づくりの推進 【人権・男女共同参画課】 29,681

5 支え合い魅力あふれる地域社会の構築

P 11 埼玉の魅力発信 【県民広聴課】 25,510

P 12 彩の国だよりによる情報発信 【広報課】 255,580

P 13 新規 伝統文化の魅力発信・普及 【文化振興課】 19,848

新規事業及び重要事業総括表

(単位 千円)

P 1 4		屋内50m水泳場の整備	【スポーツ振興課】	4, 0 5 8, 2 1 0
P 1 5		スポーツ科学拠点施設の整備等	【スポーツ振興課】	3 2 3, 5 8 3
P 1 6	一部新規	スポーツの「する」「見る」の推進	【スポーツ振興課】	1 8, 7 4 4

新規

担当 国際課 多文化共生担当
内線 2712

目的

災害、避難行動又は防災等の情報にアクセスしにくい外国人の逃げ遅れ・混乱等を防ぐため、LINEを活用して多言語の防災・災害情報を提供するとともに、市町村や関係団体と連携した訓練等を実施することにより、災害時の外国人支援体制を整備する。

事業概要

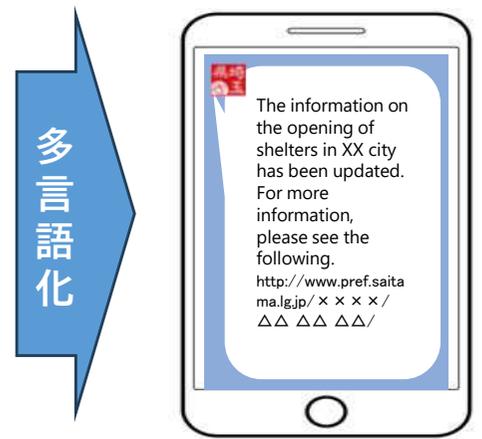
1 デジタル技術を活用した災害時の外国人支援体制の整備 28,000千円

(1) LINEを活用した多言語防災情報の提供 (新規)

26,000千円

配信イメージ

- ・ 埼玉県LINE公式アカウント「埼玉県庁」から配信する防災・災害情報を多言語化
- ・ 日本語に不慣れな外国人住民でも緊急時の情報を入手できるよう15言語(やさしい日本語を含む)で防災・災害情報をプッシュ配信
- ・ 防災・災害情報の翻訳作業や提供方法をDX化することで、外国人住民と直接のコミュニケーションが必要な相談支援体制に注力(TXの推進)



多言語化

(2) オンライン等を活用した災害時の外国人支援訓練・研修 (新規)

2,000千円

- ・ 災害時の外国人支援が滞りなく実施できるよう、市町村や関係団体と連携し訓練・研修を実施(遠隔通訳サービスや自動翻訳アプリを活用した埼玉版FEMA)



一部新規

担当 防犯・交通安全課 防犯・犯罪被害者支援担当
内線 2942、2940

目的

「埼玉県防犯のまちづくり推進計画」に基づき、防犯のまちづくりを更に推進して安全・安心の確保を図る。

事業概要

1 防犯のまちづくりの更なる推進

37,800千円

(1) 市町村と連携した防犯対策の推進 (一部新規) 37,800千円

犯罪の抑止・検挙に有効な防犯カメラの整備、多発する特殊詐欺の被害防止に有効な特殊詐欺対策機器の普及促進及び自主防犯活動の担い手不足に対応するため自主防犯活動の支援を行う市町村に対し補助金を交付することにより、地域における効果的な防犯対策を促進する。特に、防犯カメラについては犯罪抑止重点地域(※)への設置を優先的に支援する。

【補助対象事業】

- ① 公共空間への防犯カメラ整備事業
- ② 特殊詐欺対策機器の普及促進事業
- ③ 自主防犯活動支援事業

※犯罪抑止重点地域

県警察が公開する窃盗7手口(ひったくり、車上ねらい、部品ねらい、自動販売機ねらい、自動車盗、オートバイ盗及び自転車盗)の認知件数が年間5件以上の町字地域

新規・拡充内容

➤ 自主防犯活動支援事業【拡充】

防犯アプリの導入、ICタグを活用した子供の見守りシステム導入等、自主防犯活動を補完する事業を③に追加

【補助率等】

- 原則 補助率 1/3以内 補助上限額 400万円/市町村
- 優遇措置 ① 犯罪抑止重点地域への防犯カメラ整備 補助率 1/2以内
- ② 財政力が低い市町村における犯罪抑止重点地域以外の地域への防犯カメラ整備 補助率 1/2以内



街頭防犯カメラ
出典: 埼玉県警察HP



特殊詐欺対策機器



自主防犯活動の
パトロール用品

一部新規

担当 消費生活課 総務・企画調整担当
内線 2935

目的

消費者の安心・安全を確保するため、県・市町村の消費生活相談体制の充実・強化を図るとともに、消費者啓発の推進や悪質事業者に対する行政指導・処分を行う。

事業概要

1 消費者行政の活性化 33,208千円

(1) 消費生活相談体制の強化 868千円

- ・消費生活相談員のレベルアップ研修や市町村相談窓口への支援の実施

(2) 消費者啓発・広報の推進 32,340千円

- ・学校等と連携した消費者教育、県民の消費者被害防止を図るための啓発・広報の実施

2 消費者行政の活性化(市町村補助) 85,000千円

(1) 消費者行政の活性化の取組を行う市町村に対する補助 85,000千円

3 消費生活相談体制の支援 31,745千円

(1) 消費生活相談のDX化(新規) 12,800千円

- ・消費生活支援センターへAI電話等を導入し、相談者の利便性向上・相談員業務の省力化に向けて実証

(2) 市町村消費生活相談体制の支援(一部新規) 15,000千円

- ・市町村の相談窓口の広域化・共同化及びオンライン相談の支援・推進
- ・消費者安全確保地域協議会設置の働きかけ、消費者被害防止サポーターの育成支援

新規・拡充内容

➤ 市町村相談体制支援員の設置【新規】

県内市町村から情報収集を行い、実情に応じて助言・アドバイスを実施

(3) 県内消費生活相談体制の維持 3,945千円

- ・専門家との連携体制の構築、研修体制の確保による相談員業務の支援



高齢者を守るお助けかわらばん



相談員研修の様子

担当 青少年課 企画・非行防止担当
内線 2905

目的

あらゆる子ども・若者に身近な居場所があり、気軽に他者に相談し、生き生きと活躍している社会を目指す。

事業概要

1 バーチャルユースセンターの設置・運営

27,053千円

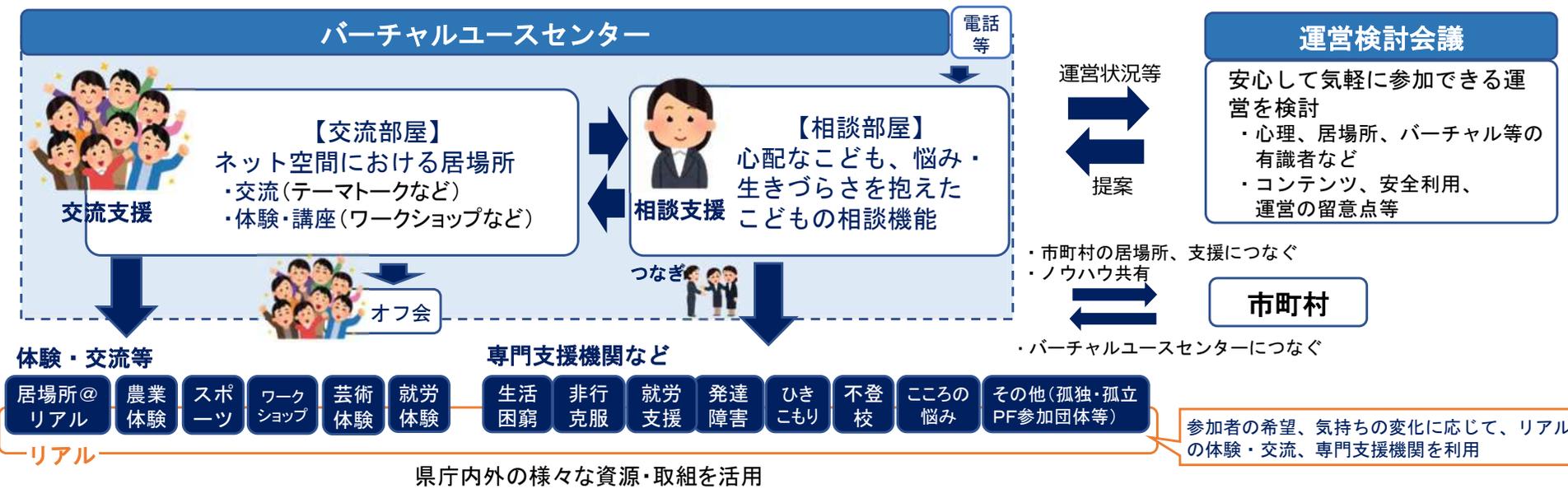
(1) バーチャルユースセンター事業

27,053千円

- ・メタバース空間に、小学生から義務教育修了後の大学生程度までの子ども・若者が安心して気軽に参加でき、体験・交流・相談等の機能を備えた居場所として、バーチャルユースセンターを設置・運営



バーチャルユースセンター（試験運用：R6.10～、本番運用：R7.10～）



一部新規

担当 共助社会づくり課 活動支援担当
内線 2819

目的

(公財) いきいき埼玉が実施する「埼玉未来大学」において、50歳以上の県民の「学び直し」と「再チャレンジ」を応援するとともに、元気なシニアなどが地域の担い手として活躍できるよう支援を行う。

事業概要

1 埼玉未来大学による地域社会活動の担い手育成

121,693千円

(1) 埼玉都民の意識変容とリスクリング体験 (新規) 6,996千円

- ・電車内の広告などを活用し、埼玉都民に向けて地域社会活動への関心を喚起するとともに、リスクリング体験として無料セミナーや講座を配信
- 埼玉都民向けアプローチ
通勤電車内のドアステッカー、車内アナウンスによる広告を実施

(2) 地域創造科の拡充・再編成 (一部新規) 39,575千円

- ・NPOや地域ビジネスの起業や運営などに関する専門的なカリキュラムを提供

新規・拡充内容

- オンラインコースを新設 (アクティブコース、地域ビジネスコース) 【新規】
ビジネスパーソンが好きな時間に受講できるようオンデマンド配信のコースを開設し、活動の実践につながるよう受講開始から終了後まで伴走型の支援を実施

(3) ライフデザイン科 (一部新規) 6,477千円

- ・シニアライフを安心して暮らすための知識の習得や、健康習慣を楽しく身につけられる健康長寿プログラムを提供

新規・拡充内容

- オンラインコースを追加 【拡充】
セカンドステージへの準備を支援するためのコースを開設

(4) 岩槻高齢者講習センターにおける社会参加・健康づくり事業 21,280千円

- ・埼玉未来大学のコンテンツを活用した運動機能測定、健康長寿や地域社会活動参加に関する講座の放映等の実施

(5) 埼玉未来大学運営 47,365千円

- ・地域社会活動の担い手育成のため、埼玉未来大学の運営を支援



オンデマンド配信(イメージ)



埼玉未来大学の学習風景

一部新規

担当 人権・男女共同参画課 LGBTQ担当
内線 2927

目的

全ての人があらゆる場において性の多様性を尊重され、安心して生活できる社会の実現を目指す。

事業概要

1 性の多様性を尊重した社会づくりの推進

26,505千円

(1) 理解の増進 9,279千円

- ・性の多様性に関する正しい理解が進むよう県民・企業向けに啓発を実施
- ・埼玉ALLY大学ネットワークを拡大し、県内大学・短期大学へ性の多様性に関する取組を推進

(2) 相談体制の充実（一部新規） 15,205千円

- ・性的指向や性自認に悩む当事者や家族・友人向けに「にじいろ県民相談」を実施
- ・性の多様性に関する取組に悩む企業向けに「にじいろ企業相談」を実施

新規・拡充内容

- にじいろ県民相談【拡充】
相談回線の増設

(3) 暮らしやすい環境づくり 2,021千円

- ・県内企業や事業所等に「埼玉県アライチャレンジ企業」への登録を働き掛け
- ・企業・大学・市町村等が一堂に会するセミナーを実施し、実践的な取組を促進
- ・性の多様性に関する施策推進会議や市町村連携会議を実施



埼玉県アライチャレンジ企業
シンボルマーク



令和6年度セミナーの様子

2 ALLY(アライ)をビジュアライズ

3,176千円

当事者に安心感を与えるとともにALLYを増やしていくため、ALLYをビジュアライズ（見える化）する。

(1) 職員をビジュアライズ（新規） 2,900千円

- ・当事者との対話を取り入れた実践的な県職員セミナーを実施
- ・セミナー受講者等へレインボーグッズを配付し、業務で着用

(2) 県の取組をビジュアライズ（新規） 276千円

- ・国内最大級の性的マイノリティイベント「Tokyo Pride」（旧：東京レインボープライド）へ出展し、県の取組を県民や企業へ発信



レインボーグッズ
（イメージ）

担当 県民広聴課 魅力発信担当
内線 2826

目 的

本県の多彩な魅力を様々な機会をとらえて県内外にPRすることで、県民の郷土への愛着と誇りを醸成するとともに、本県の魅力度向上を図る。

事業概要

1 多彩な資源を活用した魅力発信

14,455千円

イベントやオリジナルキャラクターを活用し、埼玉の魅力を県内外にPRする。

(1) 県民の日記念事業等の実施 7,801千円

- ・ 県民の日記念式典の実施
- ・ 県庁オープンデーの実施

(2) コバトン・さいたまっち等による魅力発信 6,654千円

- ・ 埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」を活用した魅力発信



県民の日記念式典



埼玉県マスコット
「さいたまっち」「コバトン」

2 バーチャル埼玉による魅力発信

11,055千円

県のメタバース空間である「バーチャル埼玉」を活用し、埼玉の魅力を発信する。

(1) バーチャル埼玉を活用した魅力発信 8,063千円

- ・ アウトドアをキーコンテンツとした埼玉の魅力発信
- ・ バーチャルとリアルが連動したイベントの開催
- ・ アウトドア企業等と連携した魅力発信

(2) サイト保守管理費等 2,992千円



イベントの様子



アウトドアエリア

担当 広報課 テレビ・ラジオ・広報紙担当
内線 2859

目 的

「彩の国だより」をさまざまな方法で発信し、県民に対して県の情報を届ける。

事業概要

1 彩の国だよりによる情報発信

255,580千円

(1) 紙版の発行、WEB版の公開 など 248,947千円

県広報紙「彩の国だより」紙版を新聞折込や公共施設等への配架の方法で県民に届けるほか、WEB版でも公開し、県民がいつでもどこでも閲覧できる状況を整える。

〔紙版〕毎月1回発行

(新聞折込に加え、各市区町村や県の機関、大規模商業施設、ドラッグストアなどでも配架)

〔WEB版〕紙版の記事に加え、WEB版限定の深掘り記事を掲載するとともに、県政や県の魅力情報を県広報アンバサダー等が訴求力のある動画で紹介するなどWEB版の充実を図る。

(2) 「彩の国だより」インスタ版の強化 6,633千円

若年層を主たるターゲットとして、Instagramで「彩の国だより」で紹介した県政や魅力情報に関する記事を若者の視覚に訴える「映える」形で情報発信する。

- ・ 県公式アカウントによる発信 (週15回程度の投稿)
- ・ 県広報アンバサダーを任命 (20組程度) し、県政や県の魅力情報を県広報アンバサダー等が訴求力のある動画で紹介 (再掲)、県公式アカウントとのコラボ投稿も実施
- ・ 更なる若年層のフォロワー獲得を達成するための専門家による支援



▲彩の国だより (令和6年12月号)



▲県公式アカウントの投稿 (令和6年5月)

新規

担当 文化振興課 文化創造・発信担当
内線 2879

目的

伝統文化の魅力を発信するプラットフォームを製作し、イベント情報等を伝統文化団体が自律的に登録・発信できる環境を整備する。また、多様な媒体によるプロモーションを併せて行うことで、県内外の多くの方の伝統文化への興味・関心を引き出し、鑑賞・体験機会へ参加するきっかけとする。

事業概要

1 伝統文化の魅力発信・普及

19,848千円

(1) 伝統文化魅力発信アプリによる魅力発信 (新規) 16,122千円

- ・ 伝統文化の魅力を発信するプラットフォーム（ウェブアプリ）を製作し、イベント情報やギャラリー（写真・動画）等を伝統文化団体が自律的に登録・発信できる環境を整備する。

〔主な事業内容〕

- ① イベント情報を一元的・体系的に発信
- ② ギャラリー（写真・動画等）の充実
- ③ イベント参加者等の体験レポートの発信
- ④ デジタルスタンプラリーの実施

(2) 伝統文化普及に向けたプロモーションの実施 (新規) 3,726千円

- ・ 多様な媒体によるプロモーションを行うことで、伝統文化魅力発信アプリの利用促進につなげるとともに、多くの方が鑑賞・体験機会に参加するきっかけとする。

〔アプリの利用促進につなげる主な取組〕

- ① 各団体や市町村が主催するイベントにおいて、PRを実施
- ② 発信力のあるアーティストと連携した記事を作成し、アプリで発信

〔鑑賞・体験機会への参加につなげる主な取組〕

- ① 伝統文化体験イベントの開催
- ② SNSでハッシュタグを活用したフォトコンテストの実施



ウェブアプリイメージ

屋内50m水泳場の整備

【予算額】4,058,210千円

担当 スポーツ振興課 スポーツ施設担当
内線 6951

目的

県内初の公営屋内50m水泳場を整備し、競技力の向上につなげるとともに、国内主要大会を開催し、水泳の普及振興を図る。また、1年を通して天候に左右されず誰もが水に親しむ環境を創出し、県民のスポーツ実施率の向上や健康増進を図る。

事業概要

1 屋内50m水泳場整備運営事業の推進

4,058,210千円

(1) 屋内50m水泳場の整備、運営・維持管理 4,040,037千円

- ・屋内50m水泳場の整備、運営・維持管理（PFI事業）に係る事業者への対価

【事業期間】令和5年度～令和23年度

【総事業費】21,045,137千円

〔事業スケジュール〕



(2) PFI事業のモニタリング 18,173千円

- ・PFI事業における建設工事の実施状況や、事業者の経営状況のモニタリングを適正に行うため、専門的な知識、ノウハウ、経験等を有するコンサルタントに支援業務を委託

施設外観イメージ



川口市神根運動場及び神根公園に整備

担当 スポーツ振興課 スポーツ施設担当
内線 6951

目的

スポーツ科学拠点施設を整備し、競技力の向上につなげるとともに、県民のスポーツ実施率の向上や健康増進を図る。また、県立武道館の大規模改修を行い、県民が安心・安全に利用できる環境を整備する。

事業概要

1 スポーツ科学拠点施設の整備

27,563千円

(1) スポーツ科学拠点施設整備事業基本計画の見直し 27,563千円

- ・スポーツ科学拠点施設について、Park-PFI手法により上尾運動公園東エリアと一体的に整備することとしていた基本計画を見直し、競技力向上施設と体育館を中心に、導入機能や整備手法等を検討
- ・あわせて、競技力向上施設と既存施設との相乗効果が生み出せるよう、公園西エリアの施設や県立武道館等と連携した、上尾運動公園の再整備に向けた調査・検討を実施

他府県の競技力向上施設の導入機器の例
全身持久力測定器



出典：青森県スポーツ科学センター

無酸素パワー測定器



出典：京都トレーニングセンター

2 県立武道館の大規模改修及び管理運営

296,020千円

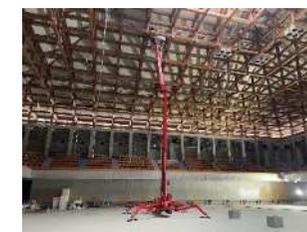
(1) 県立武道館の大規模改修 【継続費最終年次】186,743千円

- ・長期保全計画に基づき、内装や設備の大規模改修工事を実施
【事業期間】令和6年度～令和7年度
【改修後の再オープン】令和7年8月1日（予定）
【総事業費】933,709千円
【主な改修内容】各道場の床張替、照明LED化 ほか

県立武道館 大規模改修状況



主道場 床張替工事



主道場 照明LED化工事

(2) 県立武道館の管理運営 109,277千円

- ・県立武道館の管理運営を効果的かつ効率的に行うため、指定管理者による管理運営を実施

一部新規

担当 スポーツ振興課 スポーツ連携・企画担当
内線 6945

目的

県が有する豊富なスポーツ資源を活用してトップチームや国際試合等の試合観戦を促進する施策を実施し、県民がスポーツを身近に感じる機会を提供し、スポーツ実施率の向上や現地観戦者割合の増加を図る。

事業概要

1 トップスポーツを活用したスポーツの「する」「見る」の推進 18,744千円

(1) スポーツチーム試合観戦の促進 (一部新規) 16,707千円

スポーツチーム観戦・応援WEBアプリ「すぽったま！」により、県内スポーツチームの情報を一元的に発信し、試合観戦を促進

- ・観戦前後の飲食・買い物に便利な周辺の飲食店等の情報を掲載
- ・チームや選手の魅力を発信するインタビュー記事を制作し、オリジナルコンテンツを充実
- ・現地試合観戦でポイントをためて、賞品に応募できるスマホスタンプラリーを対象チーム数を拡大して実施

(掲載情報)

県内スポーツチームのニュース、試合情報、お得なチケット情報、試合会場アクセス情報、試合会場周辺の飲食店情報等

新規・拡充内容

- 飲食店等の情報を掲載【拡充】
- オリジナルコンテンツの充実【拡充】

(2) 県内で開催される国際試合のPR 2,037千円

国際試合のPR動画を作成しアプリ等で発信することで当該試合への興味・関心を喚起



WEBアプリ「すぽったま！」



スタンプラリー



国際試合会場 (イメージ)